

前回紹介した「二度上峠（にどあげとうげ）」からは、東側（高崎市側）と西側（群馬県長野原町側）の両方がよく見えます。よく晴れていると、高崎市の市街地まで見えて、特に夜景が美しいです。西側は浅間高原の大パノラマになっています。この高原の全体像をここまで雄大に俯瞰（ふかん）できて、自動車で行きつける場所は、私が知る限り二度上峠しか知りません。

昭和 30 年代までは、浅間高原の多くの面積は草原で、どこからでも浅間山が見えたようです。当時の写真や映画（たとえば「カルメン故郷に帰る」「善魔」など）を見てもよくわかります。しかし、今の浅間高原の大部分は樹木で覆われています。写真では「草原」のように見えるところもありますが、これはゴルフ場か牧草地（正確には採草地）です。多い樹種は「ミズナラ」「コナラ」「シラカバ」それに「カラマツ」です。特にカラマツは、戦後積極的に植林されて、比較的成長が速いこともあって、浅間高原の随所にカラマツの森が見られます。

カラマツは「落葉松」の名の通り、日本では珍しい「落葉針葉樹」です。材が脆く枝が非常に脆く、モミの木のような柔軟性がありません。従って積雪期の前に葉を落とさないと、雪の重さでかなり太い枝も折れてしまうのです。浅間高原のカラマツは今一斉に色づき、高原全体を「マーズ・イエロー」に染めています。そして「金色の雪」のように、毎日大量の葉を落とし続けているのです。

（2025 年 11 月中旬／群馬県高崎市・長野原町／二度上峠）

